

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

新しい産業政策のパッケージ④

R6 予算 6百万円
(R5 予算 -)

文化財発掘調査の予見可能性が低く他地域に比べ投資環境が厳しい状況や、
県有地の有効活用の推進のため、文化財発掘調査の効率化を実施

文化財発掘調査体制の充実

①文化財発掘調査体制充実事業

R6 予算案 6百万円 (R5 予算 -)

・最新デジタル機器の導入 等

文化財発掘調査の効率性・予見可能性の向上に向けた新たな取組

1 体制強化

- ・県立橿原考古学研究所の体制強化 (調査員及び事務職員の増員)
- ・市町村文化財部局との調査業務の分担
- ・民間研究機関との連携・協力
- ・短期的な調査人員確保のための雇用制度の創設 等

2 予算確保と運用の円滑化

- ・県立橿原考古学研究所の調査機材の充実
- ・調査業務の発注方式の見直し (一括発注や債務負担による複数年度契約の導入) 等

3 調査環境・条件の整備

- ・発掘調査におけるDXの推進 (最新デジタル機器の積極的な導入)
- ・出土品処理の円滑化 (保存処理体制の充実、収蔵スペースの確保)
- ・ワンストップ窓口の設置 等

4 中期的な発掘調査量の公表

- ・中長期の事業量を把握・公表し、事業の見通しを示すことで、発掘調査関連企業の参入を促進



(御所産業集積地発掘調査風景)

<効率化>

- ・トレンチ調査 → 期間を半減
(5千㎡の調査を最長6か月から3か月に短縮)
- ・発掘調査 → 面積を3倍増
(1年間で最大1万㎡を3万㎡に拡大)

P.27 工業・商業の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

奈良スタートアップ・プログラム

R6 予算 57百万円 (R5 予算 -)

取組の方向性

- 奈良発のスタートアップのロールモデルを産み出す
- 産学官とスタートアップの連携を促進する
- 未来の起業家育成のためのアントレプレナーシップ教育/起業家教育

「学」
(大学・高专等)

①「学」のシーズを成長につなげる
R6 予算案 23百万円

①新県内大学等に対し、研究成果の事業化に向けた研究・試作品作成等を支援

スタート
アップ

⑤伴走支援、
成功モデルづくり

R6 予算案 3百万円

⑤新県内のスタートアップに対し、事業共創・資金調達機会を提供 等

③「学」のシーズ(研究)と企業ニーズの
マッチング R6 予算案 10百万円

③新事業化可能性のある研究シーズ・アイデアを発掘して企業とつなぎ、社会実装に向けた共同研究の場を提供 等

④アントレプレナーシップ(起業家)教育
R6 予算案 5百万円

④新県内の若者(起業家予備軍)に対し、起業・経営ノウハウや商品開発・モノづくりを学ぶ機会を提供

「産」
(県内企業)

②スタートアップと企業ニーズの
マッチング R6 予算案 16百万円

②新事業展開や高付加価値化を求める県内企業に対し、全国のスタートアップとの共創を支援 等

若者・大学生
(起業予備軍)



(奈良スタートアップの集い2023)

P.27 工業・商業の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

大和平野中央の県有地の活用①

R6予算 1,242百万円
(R5予算 3,597百万円)

磯城郡3町における県有地を活用したまちづくりを推進

R6予算案 1,242百万円 (R5予算 3,597百万円)

- ① 新事業用地にかかる調査
- ② 事業用地の取得及び管理
- ③ 磯城郡3町での先進的事業の実施
- ④ 運転免許センター施設整備基本計画策定等

<まちづくりの基本的な方針>

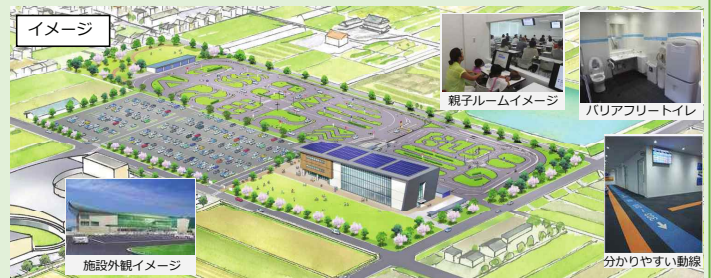
川西町

子どもを中心に多様な交流が生まれるまち **KAWANISHI**
三宅町

次世代を担う学生×企業のみち **MIYAKE**
田原本町

交通安全・安心のみち **田原本**

交通安全・安心のみち 田原本 (阪手北・西井上地区)



▶新しい運転免許センター

- ・県民の交通安全拠点
【高齢者講習実車指導コースの新設】
- ・子ども連れから高齢者まですべての利用者に優しい施設
【親子ルーム (更新時講習等) の新設、バリアフリー、分かりやすい動線表示】

P.20 安全・安心の確保
P.27 工業・商業の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

大和平野中央の県有地の活用②

子どもを中心に多様な交流が生まれるまち **KAWANISHI** (下永地区)



▶地域の活性化につながり、子どもたちも楽しめる企業を誘致

- ・地域に成長と活力をもたらす企業誘致
- ・単なる企業立地にとどまらず、子どもたちが楽しめる機能を併設
- ・まほろば健康パークと相まって、一日中遊び、楽しめるスポットに



▶地域のスポーツの振興にも資する世界的スポーツチームの関連拠点を誘致

- ・世界に羽ばたくアスリートを輩出する拠点を誘致
- ・国内はもとより世界各地のチームが強化試合や大会を通じて県内に滞在 (宿泊を伴うスポーツツーリズム)
- ・地域の子どもたちやチームとも連携することで、スポーツの裾野を拡大
- ・留学生と地元の学校・地域との交流 (スポーツを軸にした国際交流の促進)



Designed by Freepik

次世代を担う学生×企業のみち **MIYAKE** (石見地区)



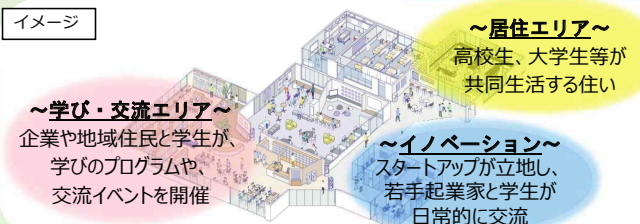
▶若者が、生活しながら成長できるヤング・イノベーション・レジデンス

- ・県内の大学生、高校生、留学生、社会人等が交流ができる全く新しいタイプの学生寮
- ・3つの機能 (居住、企業や地域との学び・交流、イノベーション) により、学生と企業が生活しながら成長

▶コンセプトに賛同し、研究や新産業にチャレンジする企業の誘致

- ・地域課題や先鋭的な技術を研究する企業
- ・学び・交流拠点において、学生との交流を積極的に図る企業

イメージ



P.20 安全・安心の確保
P.27 工業・商業の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

観光政策の新機軸

R 6 予算 679百万円 R 7～11債務負担行為 500百万円
(R 5 予算 279百万円)

①魅力的な観光地域づくり

R 6 予算案 162百万円 (R 5 予算 37百万円)

- ・(新) 県内複数エリアを対象とした実践的かつ効果的な観光地域づくりを推進
- ・市町村等による観光資源の磨き上げ、受入環境整備等の取組を推進

②観光の基幹産業化

R 6 予算案 246百万円 R7～11債務負担行為500百万円
(R 5 予算 59百万円)

- ・宿泊施設の立地等に対する補助制度を見直し
 - ・補助率5%を10%へ引上げ
 - ・新築による開業だけでなく、既存建物の活用による新規開業も補助対象化
 - ・既存宿泊施設の増改築、改装等も補助対象化
 - ・補助要件である投資額5億円以上を1億円以上に緩和(施設規模による)
- ・(新) 既存宿泊施設の魅力向上に向けて取り組む宿泊施設事業者を支援するためアドバイザーを派遣
- ・地域の観光を支える人材育成
- ・(新) 観光業界における人材不足対策の実施
- ・(新) 県職員の観光人材を育成するため海外大学院への派遣研修

③観光基盤の整備・充実

R 6 予算案 50百万円 (R 5 予算 -)

- ・(新) 県及び市町村等が人流解析データ等を活用できる体制を構築し、連携の取れた観光振興を推進

④観光情報発信・プロモーションの強化

R 6 予算案 221百万円 (R 5 予算 183百万円)

- ・2025大阪・関西万博に向けた誘客促進プロモーション
- ・(新) 大阪観光局と連携した商談会への出席
- ・交通事業者とタイアップした誘客強化
- ・(新) 海外における奈良の認知度向上のための有カメディア等へのプロモーション
- ・(新) 2024年に開催される「大阪・関西万博国際参加者会議(IPM)」を奈良県に誘致
- ・(新) 国連世界観光機関(UNWTO)の世界的な知見やトレンド等に関し情報収集を行い、連携を強化



海外メディア等に奈良の魅力をアピール



商談会での情報発信

P.28 観光の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

県産農産物等の輸出に関する取組

R6予算 53百万円、R5・2月補正予算 59百万円
(R5 予算 -)

奈良県農業を魅力ある産業に育てるため、新たなビジネスチャンスが期待できる海外マーケットを視野に
おいた、奈良県農産物等の輸出の取組を推進

①輸出実態等の調査と海外プロモーション

R 6 予算案 43百万円 (R 5 予算 -)

- ・県産農産物等の輸出実態の調査、海外ニーズ調査
- ・商談会出展によるマーケット調査、輸出セミナー開催
- ・海外小売店での販売促進活動、プロモーション



大規模商談会(FOODEX JAPAN)海外でのプロモーション



②県産農産物の輸出を支援する研究開発

R 6 予算案 10百万円 (R 5 予算 -)

- ・イチゴを長距離輸送するための技術開発
- ・輸出向け茶の有機栽培体系の確立
- ・輸出拡大に対応する切り枝花木の技術開発



イチゴ「古都華」



大和茶



切り枝花木(アセビ)

④輸出産地の生産基盤の強化

R 5・2月補正予算案 50百万円

- ・輸出推進体制の組織化
- ・生産・流通体系の転換による輸出産地モデルの構築



天敵等を活用した生産体系の転換



③大和肉鶏の輸出に向けた支援

R 5・2月補正予算案 9百万円

- ・食鳥処理場の輸出施設認定に向けた支援



大和肉鶏

P.29 食と農の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

国スポ・全スポ奈良大会準備の推進

R6 予算 285百万円
(R5 予算 ー)

① 新 県立橿原公園再整備基本構想策定

R6 予算 208百万円 (R5 予算 ー)
・橿原公園リニューアル整備に向けて基本構想を策定

② 新 アリーナ適地検討事業

R6 予算 77百万円 (R5 予算 ー)
県立橿原公園新アリーナの規模が大きくなった場合を想定し、公園敷地以外の県有地の活用を検討。



整備イメージ図

P.32 スポーツの振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

南部東部地域の振興

R6 予算 301百万円 R5・2月補正予算 5百万円
(R5 予算 306百万円)

1 定住の促進

R6 予算案 136百万円 (R5 予算 121百万円)

- ① 新 市町村や大学・研究室、民間事業者等が連携して取り組む魅力ある地域づくりに対する補助
- ② 新 奥大和移住定住交流センター「engawa」を拠点に人材育成、事業創出等の移住・定住支援プログラムを一体的に展開
- ③ 奥大和地域の暮らしや人々との関わりを体感する移住体験プログラムの実施
- ④ 移住・定住等を促進するための拠点施設整備を支援
- ⑤ 奥大和の地域産業のブランド力を向上させる特産品の新規事業開拓及び販路拡大を促進 (加工食品、工芸品等)
- ⑥ コミュニティナース育成講座の開催 ほか

3 力強い市町村づくり

R6 予算案 45百万円 (R5 予算 45百万円)
R5・2月補正予算案 5百万円

- ⑫ 南部・東部地域の市町村と協働し、市町村職員を確保・育成するための広報、研修等を実施
- ⑬ 南部・東部デジタルメッセの開催 ほか

2 交流の促進

R6 予算案 120百万円 (R5 予算 139百万円)

- ⑦ 新 奥大和地域の自然を活用したアウトドア・スポーツツーリズムの推進
- ⑧ トレイルランニングイベント「Kobo Trail」の開催
- ⑨ ガストロノミーをテーマに奥大和地域のポテンシャルと食文化を活かしたイベントの実施
- ⑩ うだ・アニマルパークで県と市村が連携した東部地域の魅力発信イベントの実施
- ⑪ 新 2025年大阪関西万博を契機とした奥大和地域への誘客を促進 ほか



奥大和移住定住交流センター「engawa」 「うだ・アニマルパークのぼくぼくパーク」イベント

P.33 南部東部地域の振興

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定等

R6予算 10百万円
(R5予算 45百万円)

リニア中央新幹線調査検討事業

令和5年度の取組内容

- ・7月、11月に「奈良市附近駅」の早期確定を求める政府要望を実施
- ・リニア中央新幹線の建設促進のため、全国期成同盟会（10都府県）三府県大会（三重県・奈良県・大阪府）、県期成同盟会を開催
- 令和5年12月よりJR東海がボーリング調査を開始し、環境影響評価に着手

県期成同盟会の開催

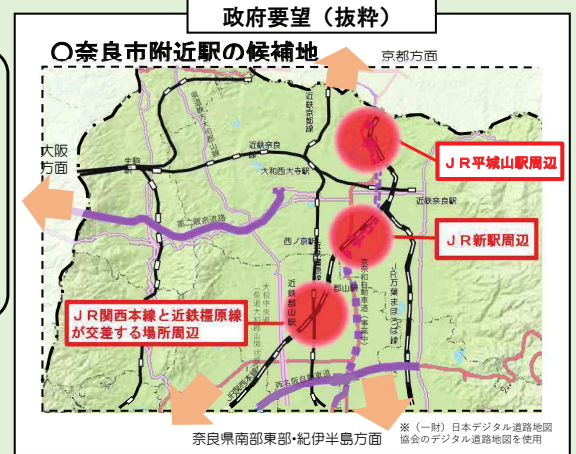


三府県大会の開催



R6予算案 10百万円 (R5予算 45百万円)

- ・リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定に向けた調査・検討
- ・リニアの整備効果を、観光・経済面など広範にわたって県内全域に及ぼすための調査・検討



JR東海が駅位置及びルートを確認するための地質調査を実施（令和5年12月撮影）



P.34 県発展のための基盤整備

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

道路整備の加速化

R6予算 22,453百万円 R7~R9債務負担行為 7,032百万円
(R5予算 21,068百万円)

①道路整備の加速化のための改革

計画的・効率的に事業を行い、立ち遅れた道路整備を加速化

改革1：土地収用制度の積極的活用

一定期間経過後は速やかに土地収用手続きに着手するなど、計画的に用地買収を行う等

改革2：埋蔵文化財調査の加速化

調査業務の発注方法の見直しや調査体制の強化を行う等



改革3：選択と集中による工事の加速化

用地取得や工事に協力を得られるなど、事業実施環境が整った区間へ予算の重点化を行う等

②骨格幹線道路ネットワーク等の整備推進

R6予算案 8,418百万円

R7~R9債務負担行為 6,482百万円

(R5予算 7,835百万円)

- ・国道168号（香芝王寺道路、新天辻工区等）
- ・国道169号（御所高取バイパス、高取バイパス等）他

<国道169号（高取バイパス）>



暫定2車線バイパス工事を推進（高取町清水谷）
【令和7年度完成供用】

③京奈和自動車道等の早期全線開通

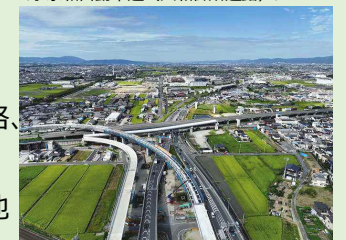
R6予算案 14,035百万円

R7債務負担行為 550百万円

(R5予算 13,233百万円)

- ・京奈和自動車道（大和北道路、大和御所道路）
- ・（都）西九条佐保線 他

<京奈和自動車道（大和御所道路）>



（仮称）橿原JCT（大阪方面接続ランプ）
【令和8年春供用】

P.34 県発展のための基盤整備

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

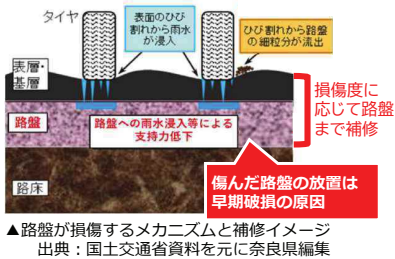
ならの道 リフレッシュ プロジェクト

R 6 予算 1,672百万円
(R5予算 -)

道路の計画的な維持管理を行うことで、快適な道路空間を道路利用者に提供できるよう、令和6年度～令和10年度において『ならの道 リフレッシュプロジェクト』を実施

- ① 舗装の耐久性向上 (R6予算案 1,140百万円) ② 区画線の維持修繕 (視認性の向上) (R6予算案 56百万円) ③ 草刈りのメリハリ化 (不快感の軽減) (R6予算案 476百万円)

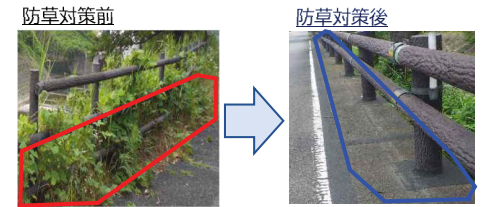
大型車交通量の多い主要道路を中心に、損傷度に応じた適切な県管理道路の舗装修繕を実施



大型車交通量の多い道路を中心に、県管理道路の区画線補修を実施(パトロール発見箇所や通報箇所に加え、ドライブレコーダー画像を用いて損傷具合を確認し、区画線補修を実施)

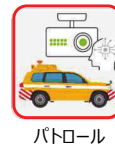


・大型車交通量の多い主要道路を中心に、県管理道路の雑草が生えない対策を実施
・観光地や危険箇所にも着目し、草刈りなどを実施



④ 道路維持管理のDX (異常箇所の早期発見)

身近なツールで写真・位置を送信可能にするなど、利用者の通報しやすさを向上
また、ドライブレコーダーのデータを活用するなど、道路状況確認の効率化を図る



P.34 県発展のための基盤整備

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

大阪・関西万博を契機とした産業と観光の振興

R 6 予算 323百万円 R 5・2月補正予算 65百万円
R 7 債務負担行為 370百万円 (R 5 予算 33百万円)

① 大阪・関西万博に向けた取組の積極的な推進

R 6 予算案 317百万円 R 7 債務負担行為 200百万円
(R 5 予算 33百万円)

- 大阪・関西万博の開催に向けた県内の機運醸成や、会場催事等の企画・開催準備
 - 機運醸成イベントの実施
 - 万博会場催事の企画・開催準備
 - 万博を契機とした県内催事等の企画・開催準備
 - 関西パビリオンの参加負担金
- 2025大阪・関西万博に向けた誘客促進プロモーション
- 2024年に開催される「大阪・関西万博国際参加者会議 (IPM)」を奈良県に誘致



② 地域一体型オープンファクトリーの推進及び

観光アプリによる周遊環境の整備

R 6 予算案 5百万円 R 5・2月補正予算案 65百万円
(R 5 予算 -)

- 新大阪・関西万博の開催に合わせ、ものづくり現場を見学、体験してもらう施設 (オープンファクトリー) の掘り起こし
- キーワードを入力することで最適な「なら旅」を提案するWEBアプリの機能を強化

③ 未来を担う子どもたちの大阪・関西万博への招待

R 6 予算案 1百万円 R 7 債務負担行為 170百万円

- 新 校外学習で2025年大阪・関西万博を訪れる県内小・中・高等学校等に対して、入場料を助成



イメージ提供：2025年日本国際博覧会協会

P.36 広域での連携

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

県庁の働き方・職場環境の抜本的改革、採用改革

R 6 予算 680百万円
R 7~11債務負担行為 376百万円
(R 5 予算 173百万円)

(1) 健康が基本的な価値となる組織の構築

R 6 予算案 28百万円 (R 5 予算 25百万円)

- ①勤務時間適正管理システムの運用
- ②総合的なメンタルヘルス対策
・ストレスチェック、窓口相談、研修等
- ③職場復帰支援の拡充



窓口相談

(2) 創造性を促し、生産性を高める環境の整備

R 6 予算案 411百万円 (R 5 予算 84百万円)

- ④文書管理システムの運用
・適正な文書管理や業務効率化、ペーパーレス化等の推進
- ⑤A I 技術による業務見直し
- ⑥(新)水防などの体制の見直し
・道路の規制等の自動化、A I 洪水予測システムの導入

(3) 多様な人材が集まり、活躍できる包摂性の高い環境の整備

R 6 予算案 98百万円 R 7~8 債務負担行為 4百万円
(R 5 予算 14百万円)

- ⑦多様で柔軟な働き方の推進
・フレックス勤務、テレワークの推進
- ⑧(新)採用改革
・リクルート活動の強化
・採用試験制度の改革 (SPI等の活用)
・修学資金制度の創設 (土木技術職員、獣医師)



知事によるリクルート活動

(4) 組織内外における交流と結びつきを促す環境の整備

R 6 予算案 79百万円 R 7~11債務負担行為 372百万円
(R 5 予算 51百万円)

- ⑨コミュニケーションツール導入、新ネットワーク環境への移行
- ⑩民間企業との人事交流、海外大学院への派遣



イギリス ヨーク大学大学院

(5) 社会情勢の変化を捉え、県民の利益に資するものとなるよう、主体的に意欲的な課題設定ができる環境整備と組織運営

R 6 予算案 17百万円 (R 5 予算 -)

- ⑪職員の意識や働き方改革の進捗を把握する調査、360度評価の導入・人事評価基準の見直し

(6) 県民全体への奉仕者として楽しく、失敗を恐れず果敢に挑戦できる人材の育成

R 6 予算案 46百万円
(R 5 予算 -)

- ⑫外部の先進的な取組等を学ぶ動画研修



学びのプラットフォーム (ならっCiao!)

P.37 県庁の働き方・職場環境改革の推進

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

組織のあり方の大胆な見直し

1. 組織体制の見直し

○県政課題への的確な対応を図るため執行体制を見直し

- ・教育を含む子育て施策を一体的に推進するため、**こども・女性局に教育振興課を移管**
- ・県内企業の支援や企業誘致等の政策課題に機動的かつ柔軟に対応するため、**産業・観光・雇用振興部内の5課室を3課に再編**
- ・観光地域づくりに資する取組を強化するため、**奈良公園室を観光局に移管**

○県民に分かりやすく、親しみやすい名称とするため、部・局の名称を変更

- ・文化・教育・くらし創造部 → **地域創造部** ・水循環・森林・景観環境部 → **環境森林部**
- ・産業・観光・雇用振興部 → **産業部** ・食と農の振興部 → **食農部** ・地域ガザの推進局 → **まちづくり推進局**

○組織対応力の向上や柔軟な繁閑調整等を実現するため組織を大括り化

- ・小規模所属の廃止・統合 本庁103課室→88課室 (△15課室)
- ・少人数係の再編 本庁312係 →277係 (△35係)

○若手・中堅職員からの提案を組織運営等へ反映

2. 定員配分の見直し

県政課題への的確な対応を図るための増員 +383 (単位:人)

こども・子育て、女性支援の充実のための増員	+12
・保育人材の確保対策強化、発達障害児者の療育・支援体制の強化 など	
産学官連携や企業誘致による県内産業の振興のための増員	+20
・宿泊施設・企業誘致の体制強化、スタートアップ推進 など	
グリーン・脱炭素の推進のための増員	+6
・(仮称)奈良県脱炭素戦略の策定、水素エネルギーの利活用検討 など	
県庁の働き方・職場環境改革の推進のための増員	+33
・職員採用に向けた体制強化、奈良スーパーアプリの構築・運用・利用拡大 など	
その他の重点項目、他律的業務の著しい増加のための増員	+47
・万博開催に向けた催事対応、国民スポーツ・全国障害者スポーツ大会への準備対応 など	
法令改正等への対応のための増員	+6
・児童相談所における児童福祉司等の法定配置基準の充足	
課室間での人員・業務の配分見直しによる増員	+259

大胆かつ幅広い事務事業の見直しに伴う減員 △383 (単位:人)

優先度に応じた事務事業の廃止・見直しによる減員	△92
・大規模広域防災拠点事業の廃止、観光イベントの廃止 など	
デジタル化の推進など深度あるBPR(業務効率化)等による減員	△14
・業務のマニュアル化、同種業務の集約化 など	
民間外部機関との連携・協働や業務委託への切り替えによる減員	△4
・本庁舎の空調運転管理業務の外部委託化 など	
課室間での人員・業務の配分見直しによる減員	△273

P.37 県庁の働き方・職場環境改革の推進

